

仏教壮年の声

滋賀教区仏教壮年会連盟理事長 安居 徹

滋賀教区仏教壮年会連盟では毎年4月最終土曜日に八幡別院にて滋賀教区の総会を行います。研修会は年2回行っており、9月に県内で宿泊研修、2月に県外で一日研修を行っております。

昨年の9月の宿泊研修では琵琶湖の沖島にある西福寺様を訪問し、ご住職様よりご法話をいただきました。西福寺様は蓮如上人とのご縁が深い寺院で、今でも蓮如上人のお名号など数多くの宝物が残されており、研修会参加者一同、感激いたしました。同じ滋賀県内に住んでいても、なかなか訪れる事が少ない沖島を訪ねることができました。その後、近江八幡国民休暇村で宿泊し、懇親会を行い参加者の親睦が深りました。

2月の一日研修では一昨年同様、本山御影堂前に集合し、ご本山からバスで出発し市内にある法然寺様に参拝いたしました。法然寺様は法然聖人のお弟子である熊谷直実（蓮生房）が、法然聖人から拝領された聖人自作の御影を安置して建立されたお寺です。

そこには、法然聖人の御廟所、また熊谷直実の鎧からつくられた釣り灯籠や、熊谷直実自身が仏門に入る大きな転機となった平敦盛の像など、数多くのご宝物がある由緒ある寺院です。普段、親鸞聖人のことを学ばせていただくことが多い私たちですが、七高僧様のおひとりである法然聖人のことを学ぶ機会は多くありません。この度、法然寺様に参拝いたし、ご住職様より懇切丁寧に、法然聖人の人間像や、熊谷直実の人生、また親鸞聖人との関わりをお話しくださいました。なかなか拝見できない貴重なご宝物を間近で見せていただくことができた貴重なご縁でした。参拝後、昼食の懇親会を行い参加者の親睦をはかることができました。



熊谷直実(蓮生房)像



鎧の釣り灯籠



法然聖人像(法然聖人ご自作)